

## 2学期スタート

8月20日(月)に広州日本人学校の2学期始業式が行われました。教頭の開式の言葉から始まり、校長先生のお話、児童生徒会代表の話、校歌斉唱と続きました。校長先生は、夏休み中の日本の猛暑や大雨による災害のこと、アジア大会のお話、ボランティアで子どもを無事保護した「尾島春夫」さんの話をされました。最後のボランティアの話では、自分の事ではなく、他の人たちのために活動する事のすばらしさや大切さを子どもたちに伝えました。「みなさんも、新しく転入してきた30名の仲間が楽しく学校生活を送れるように、助け合ったり、声をかけたりしましょう。そして早く広州日本人学校に慣れて楽しく過ごせるように手助けしてあげましょう」と子どもたちに呼びかけました。

また、2学期のはじめには全校で「日中友好作文」に取り組みます。今年は日中友好40周年にあたるということで、商工会が中心となり、20年前に埋めたタイムカプセルの掘り起こしと、さらに20年後に向けての新たなタイムカプセルづくりが行われることになりました。広州日本人学校の子どもたちもこれに参加するべく、全校児童生徒で作文を書きます。テーマは「日本と中国」。これまでの中国での生活を振り返ったり、日本の良さ、中国の良さについて考え直したりするきっかけになればと思います。残念ながら全員の作文をタイムカプセルに埋めることはできませんが、学校全体で、日中友好40周年を盛り上げていきます。

このほかにも2学期には学習発表会や中学部宿泊研修・修学旅行、小学部の校外学習など様々な行事があります。一番長いこの2学期を有意義に実りのあるものにしていきたいと思います。

